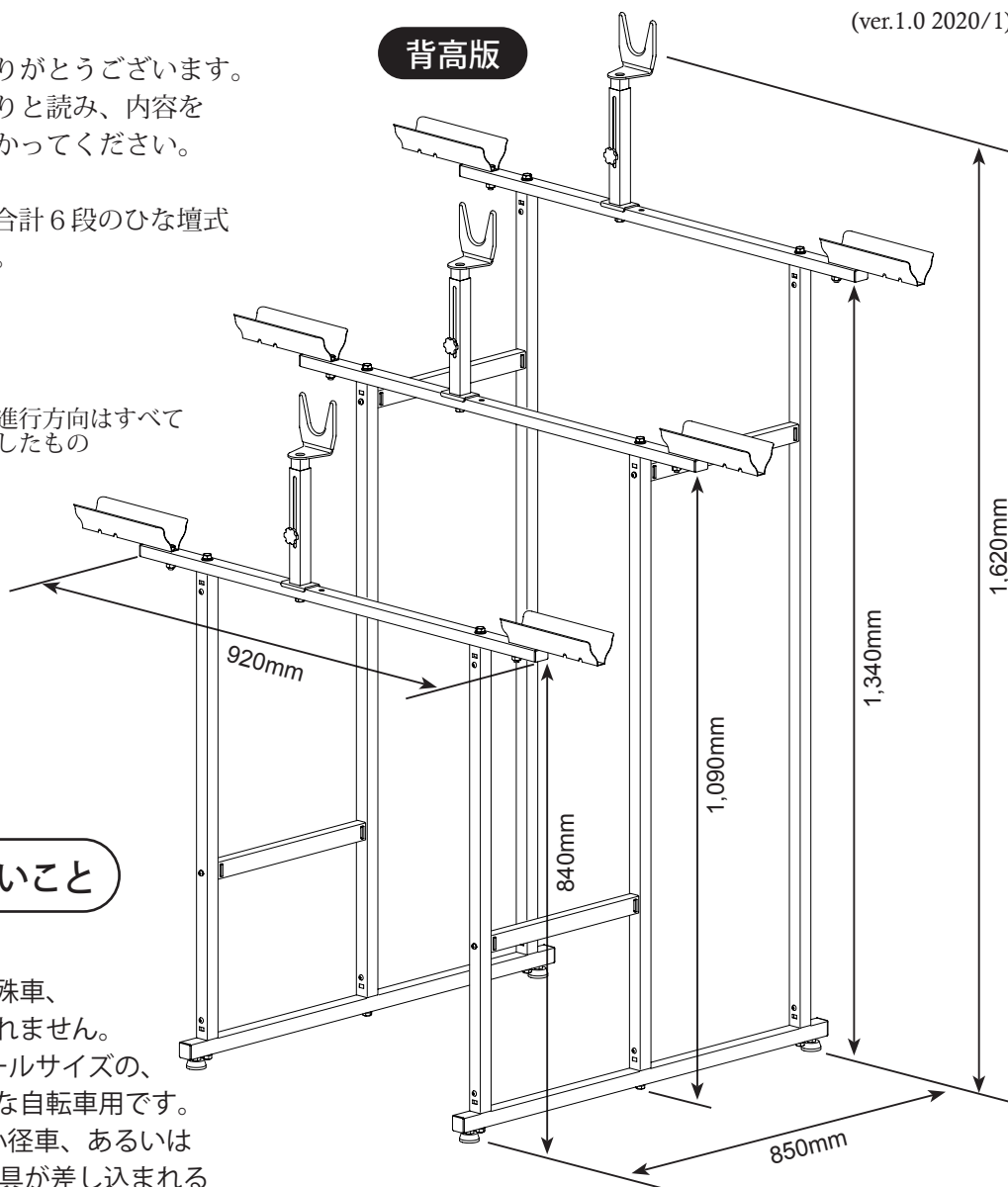


このたびはお買い上げまことにありがとうございます。  
組み立て前にこの説明書をしっかりと読み、内容を十分に把握してから作業に取りかかってください。

通常型 971-3U を手前に置くと、合計 6 段のひな壇式展示台としてお使いいただけます。

### <完成形例>

搭載する自転車の進行方向はすべて  
右向きとして配置したものと



### ⚠ 注意していただきたいこと

- 通常の 2 輪自転車専用です。  
3 輪車やリカンベントなどの特殊車、  
また自転車以外のものは載せられません。
- 基本的に 24 インチ以上のホイールサイズの、  
カーボンフレームを含む一般的な自転車用です。  
ホイールベースの短い BMX や小径車、あるいは  
車体を保持する U 字型の支持金具が差し込まれる  
ボトムブラケット (BB) とクランクとの間に 6 ミリの隙間が  
確保できないものや、BB 付近に電動変速のバッテリーなど保持の障害となる部品などが装着されているものは使用できない場合があります。
- 電動アシスト車は軽量なもののみ搭載できます。車重が 30kg を超えるものは載せないでください。
- 自転車は両輪とクランク軸の 3 点で支持されるだけです。最大限に安定を保つため、タイヤ受けの位置や BB 受けの高さ調整は搭載する自転車ごとに個々に調整して合わせてください。
- 横フレームを組み付ける向きによって搭載する自転車の方向が決まります。指定以外の向きでは使用できません。
- 971-3U に足をかけて登ったり、踏み台代わりに使用しないでください。
- 必ず水平で平坦な場所に設置してください。オプションの「キャスターキット」を装着している場合には特に注意し、自重で勝手に動き出さないようにキャスターのロックを掛けてお使いください。
- 971-3U を移動させる際は、必ずいったんすべての自転車を下ろしてから行なってください。
- 定期的に各部の増し締めを行なってください。組み立て・調整にはサイズの合った正しい工具を使用してください。
- 組み立て前にすべての部品が揃っているか、正しいサイズであるかどうかを確認してください。

### 品質保証期間

お買い上げ日から 1 年間

### 問い合わせ先

製造/発売元：株式会社 箕浦

〒 503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

Tel: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505

Mail: infodesk@minoura.jp / Web: www.minoura.jp

日本製

# 組み立てのしかた

## 組み立てに必要な工具

プラスドライバ (#2)..... 1本、13mm スパナ (メガネレンチを推奨)..... 2本

### 1 部品の確認

すべての部品が揃っているかどうかを確認します。

#### <部品明細>

台	... 2本	丸頭ボルト M5x40	... 8ケ
横フレーム	... 3本	六角ボルト M8x35	... 6ケ
支柱 (792mm)	... 2本	六角ボルト M8x45	... 12ケ
支柱 (1,042mm)	... 2本	パイプスペーサ (短)	... 15ケ
支柱 (1,292mm)	... 2本	パイプスペーサ (長)	... 6ケ
つなぎパイプ	... 4本	M5 スプリングワッシャ	... 8ケ
クランク軸受け	... 3ケ	M8 スプリングワッシャ	... 21ケ
タイヤ受け	... 6ケ	M8 平ワッシャ	... 21ケ
ゴムアジャスタ	... 4ケ	M8 ナット	... 6ケ

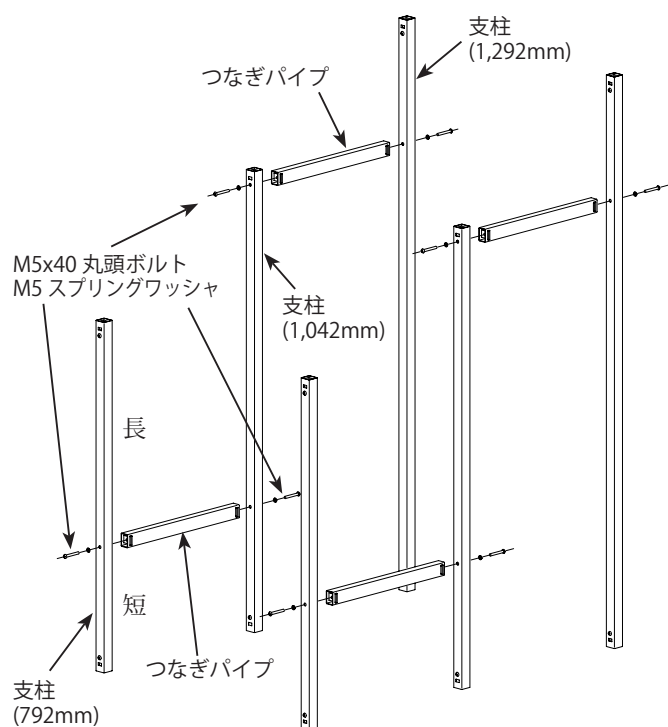
### 2 3本の支柱を連結します

支柱 (792mm) の上下方向に注意しながら、中間の孔につなぎパイプを取り付けます。反対側に支柱 (1,042mm) を取り付けます。

支柱 (1,042mm) の反対側上端につなぎパイプを取り付け、支柱 (1,292mm) に取り付けます。

3本の支柱の底面の高さが揃っていることを確認してください。

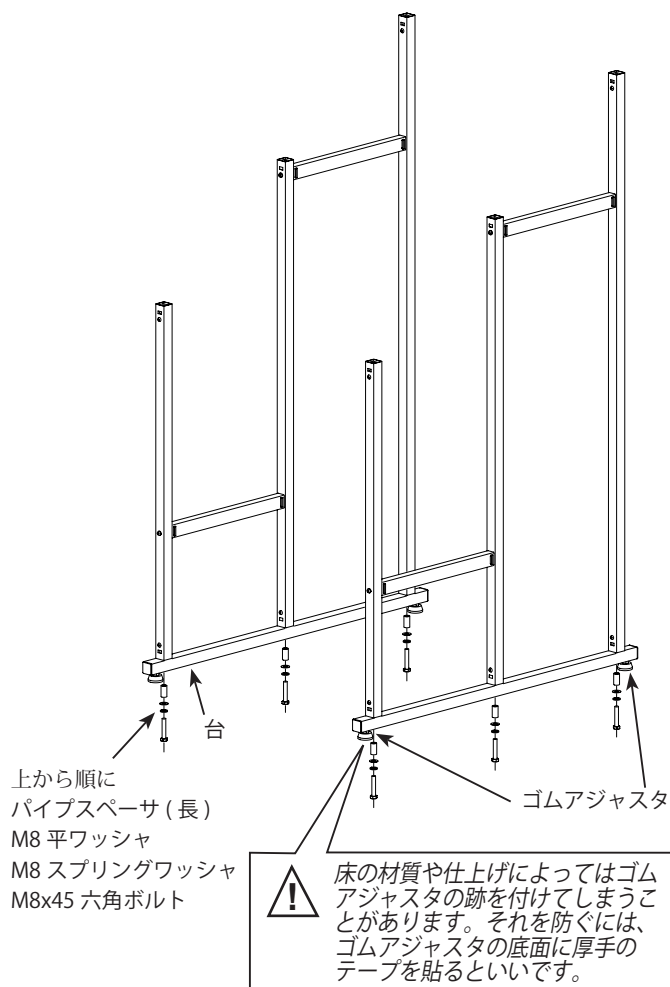
これを左右分2セット作ります。



### 3 支柱を台に取り付けます

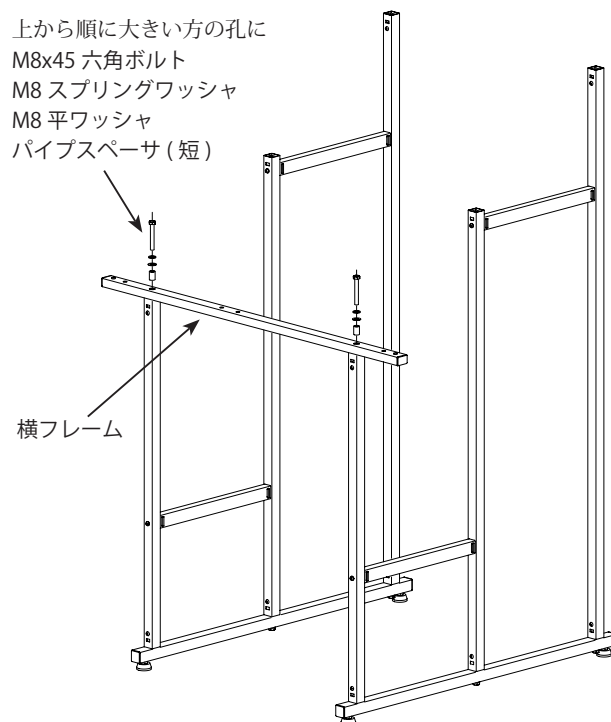
手順2で組み立てた支柱ユニットを台に取り付けます。台は大きい孔のあいている方 (パイプスペーサが挿入されることで、ボルトを締めても角パイプが潰れないように) が下になります。

台の両端にはゴムアジャスタをねじ込みます。これも左右分の2セット作ります。

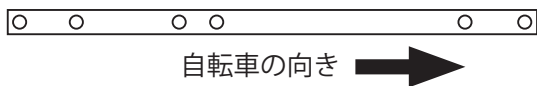


### 4 支柱に横フレームを取り付けます

左右の支柱ユニットを横フレームでつなぎます。まずはいちばん手前の支柱 (792mm) に取り付けます。横フレームは、搭載する自転車の向きに合わせて方向を確認してから取り付けてください。

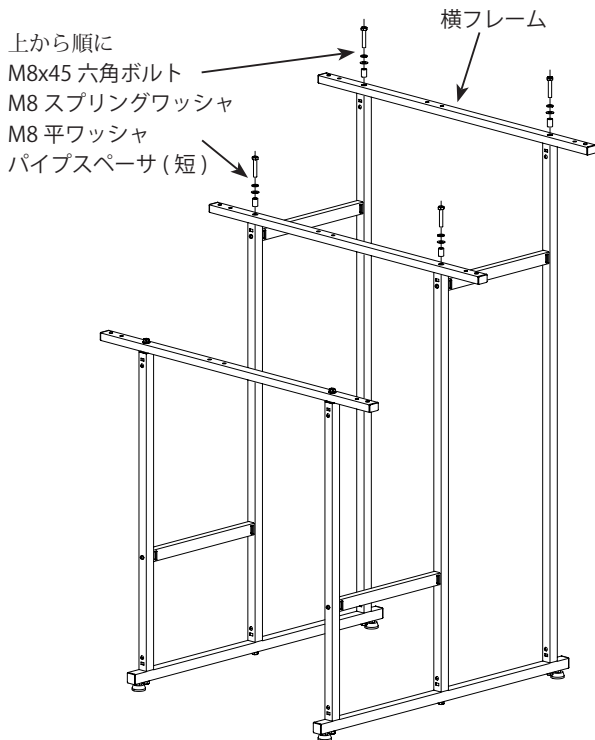


**!** 横フレームの向きに注意してください。  
 クランク軸受けを取り付ける2つの孔が横フレームの中央より左側にあるときは、自転車の進行方向は右向きになります(下図参照)。  
 自転車を左向きにしたい場合は、横フレームを左右逆に取り付け直さなければなりません。



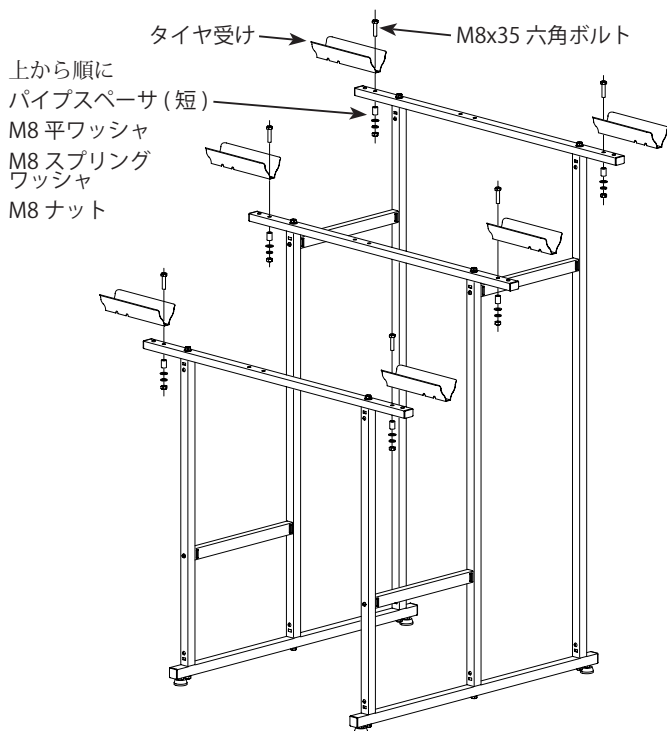
## 5 残りの横フレームを取り付けます

続いて2段目と3段目に横フレームを取り付けます。  
 搭載する自転車の向きを揃えるのなら、横フレームの向きは3段とも同じ方向に揃えます。



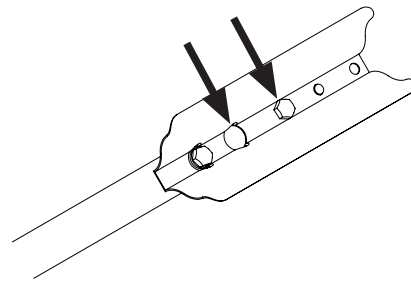
## 6 タイヤ受けを取り付けます

横フレームの両端にタイヤ受けを取り付けます。



タイヤ受けは、搭載する自転車のホイールベースに合わせて5段階に位置を変えることができます。  
 安定した展示を行なうためにも、タイヤ受けは必ずタイヤの途中ではなく、最下点を受けるような位置を選んで取り付けてください。

**!** 短いホイールベースに合わせるには、タイヤ受けを左右反転させ、内寄りに取り付けて間隔を狭めます。  
 横フレームを止めている六角ボルトの頭を避けるため、大きい方の孔がボルトの頭をくぐるようにします。

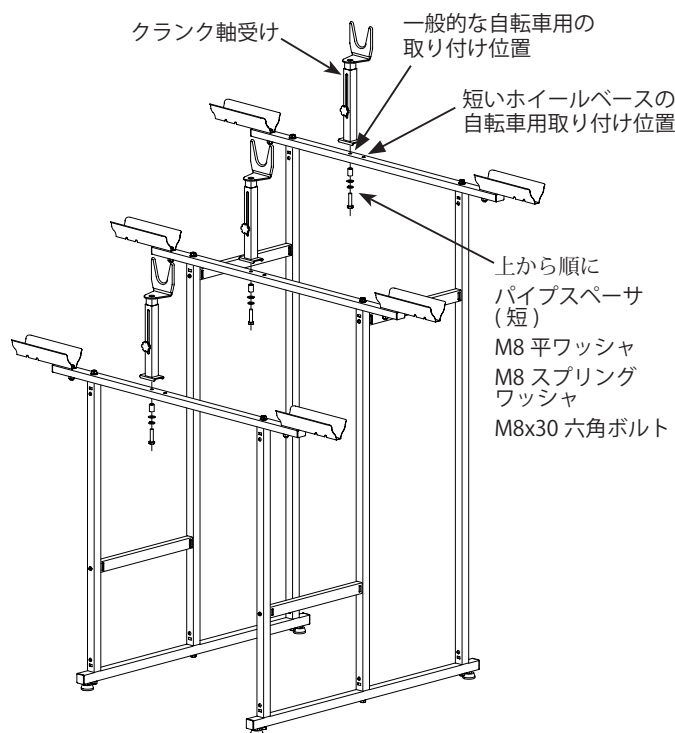


## 7 クランク軸受けを取り付けます

横フレームにクランク軸受けを取り付けます。  
 クランク軸受けを取り付ける孔は2ヶ所あり、中央寄りなのが短いホイールベースの自転車用、離れた側が通常の自転車用になります。

クランク軸受けは、先端のU字型部分がボトムブラケットとクランクとの隙間に差し込まれることで自転車を支えます。  
 右図のケースでは、自転車は右向きになるので、クランク軸受は左側クランクとボトムブラケットとの間に差し込まれます。

**!** 横フレームで指定した向きと逆向きに自転車を搭載しようとする、タイヤがタイヤ受けからはみ出てしまい搭載できなくなります。



## 自転車の搭載のしかた

- 1 横フレームを組み付けたときに決めた向きに合わせて自転車を準備します。
- 2 自転車を持ち上げ、まず前後輪ともタイヤ受けの上に載せます。
- 3 片手で自転車を支えたまま前後に位置を微調整してから、もう一方の手でクランク軸受けのノブを緩め、先端のU字型部分がボトムブラケットとクランクとの隙間（6ミリ以上が必要）にいっぱい差し込まれるまで持ち上げます。



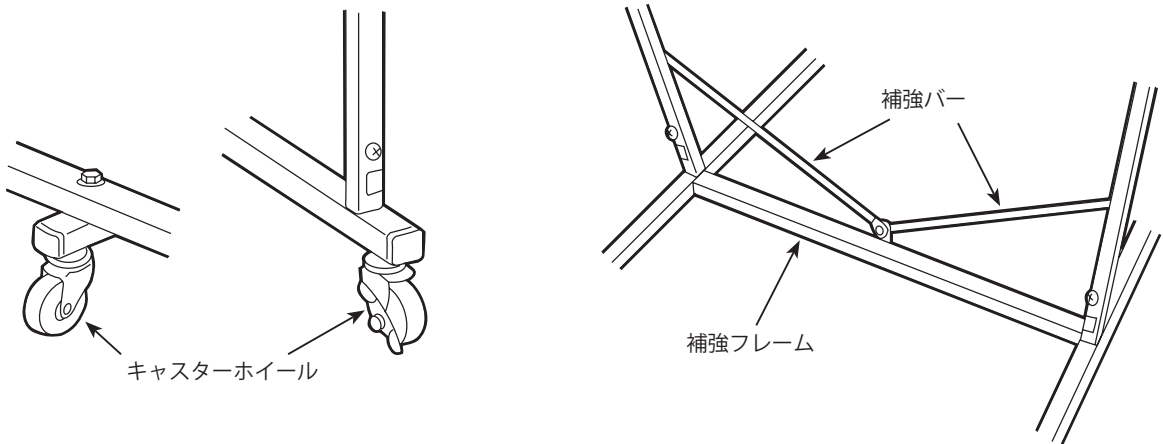
十分な隙間がない場合は、このスタンドはその自転車に対してはこのままでは使用できません。

- 4 前後左右に自転車を動かしてもぐらつかない位置まで持ち上げたところで、ノブを締め込んで固定します。
- 5 最後にもう一度971-3HU上の自転車を軽く左右に揺さぶってみて、しっかりと保持されていることを確認してから、自転車を支えていた手を離してください。

## オプション品について

### キャスターキット

台の四隅のゴムアジャスタをキャスターホイールに交換することで、自転車を搭載したまま簡単に移動させることができます。移動の際の全体のフレームの歪みや変形による落下や指挟みなどのトラブルを抑えるための追加補強フレームや補強バーが同梱されています。



### 後輪受け

フレーム形状や装備品などの関係でそのままでは搭載できない自転車に対しては、クランク軸で支える代わりに、後輪全体を枠で前後に受けてやることで、安全に搭載することができます。タイヤ受けと横フレームとの間に装着します。

(BB保持型971シリーズと共通品)

